

きょうから秋の全国交通安全運動

事故撲滅へ地域一丸

21日から始まる秋の全国交通安全運動を前に、函館市内では20日、決起集会や合同出動式が開かれ、関係団体が一丸となって事故防止に臨む決意を新たにしました。同運動は重点項目に「子供と高齢者の安全な通行の確保」など5項目を掲げ、30日まで展開される。

(山田大輔)

輪禍防止願 車両パレード

■西地区決起集会

○…函館西地区安全運動
管理者協会(佐藤良三会長)
は、亀田八幡宮で西地区決
起集会と特装車両パレード



亀田八幡宮を出発し、パレードを先導する白バイ

を実施した。

函館西署や函館中央郵便局など35の関係団体から約80人が参加。安全祈願後の集会で、佐藤会長は「痛ましい事故を1件でも減らすため、交通安全運動活動にしっかり取り組もう」と呼び掛けた。

パレードには消防車や道路パトロールカー、市内自動車学校の教習車など装飾を施した46台が集結。白バイが先導し、函館駅前や十字街など市内約10キロを走行し、市民に同運動をアピールした。

悪質な危険運転 取り締まり徹底

■函本合同出動式

○…渡島総合振興局(佐々木徹局長)と道警函館方面本部(池田泰昭本部長)は、函館競輪場で合同出動式を開いた。

函館、近郊の自治体や函館地区ハイヤー協会などから約120人が参加。佐々木局長は「日没が早まり、

高齢歩行者や自転車の事故が多発する季節。交通安全の推進に協力いただきたい」とあいさつ。池田本部長は「飲酒運転や速度超過など悪質な危険運転の取り締まりを徹底したい」と力を込めた。

続けて、函館バスの中川章安全対策室長が「地域にも協力を呼び掛け、パトカーバスで積極的な広報活動を実施する」と交通安全宣言を宣誓。その後、パトカーや白バイ約20台が一斉に交通取り締まりに出発した。